

河川関係の評価項目調書

河川事業の再評価項目調書

事業名（箇所名）	ひのがわ 日野川 総合水系環境整備事業					
実施箇所	日野川直轄管理区内					
当該基準	再評価実施後一定期間（3年）が経過している事業					
事業諸元	（水辺整備） 水辺の楽校【福市箇所】〔計画〕 高水敷整正、ワンド、坂路等					
事業期間	平成 26 年度～平成 35 年度					
総事業費	2.3 億円	残事業費	2.3 億円			
目的・必要性	<p>日野川は、その源を広島・島根の県境に位置する 三国山（標高 1,004m）に発し、途中 印賀川 や 俣野川 等の支川を合わせ、下流で 法勝寺川 と合流し、日本海（美保湾）に注ぐ、流域面積 870km²、幹川流路延長 77km の一級河川である。流域の約 92%を山地が占め、下流部は鳥取県第二位の人口が集中する米子市街地を形成している。古くは繊維関係産業や豊富な林産資源に恵まれた林業等が盛んであったが、近年では果樹栽培や畜産業等が盛んである。観光業では、鳥取県内最大の温泉である皆生温泉、日本最大級のフラワーパーク「とっとり花回廊」、大山山麓（冬季のスキー、夏季の避暑）等も賑わっている。</p> <p>（水辺整備） 《水辺の楽校【福市箇所】》 事業予定箇所周辺には小学校があるが、河川敷には雑草が繁茂し、水辺に近づきにくくなっている。そのため、子どもたちが日常的に川と触れ合い、河川環境学習などの活動の場として利用できるように基盤整備を行う。</p>					
便益の主な根拠	（水辺整備）TCM 年間利用者数の増加：311,330人					
事業全体の投資効率性	基準年度	平成 26 年度				
		B:総便益 (億円)	C:総費用 (億円)	B/C	B-C (億円)	EIRR (%)
	全体事業	8.2	2.0	4.1	6.2	17.2
	残事業	8.2	2.0	4.1	6.2	17.2
事業の効果等	<p>（水辺整備） ＜水辺の楽校【福市箇所】＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 高水敷整正、ワンド、坂路等の整備により、総合学習の場等として、安全に水辺を利用できるようになる。 散策等の利用が増加するなど、市民の憩いの場として利用されるようになり、利用者の増加が見込まれる。 					
社会情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> 日野川沿川の米子市、南部町、伯耆町、江府町、大山町、日吉津村の人口は平成 22 年現在で約 196 千人であり、今後高齢化等により大きく減少することが想定されている。 					
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 事業の進捗率は 0.9%（事業費ベース）である。（総事業費 2.3 億円のうち、整備済みは 0.02 億円） 					

事業の進捗の見込み	<p><水辺の楽校【福市箇所】></p> <ul style="list-style-type: none"> 計画段階であり、関係機関や住民等の意見を反映しながら事業の実施について検討していく。
コスト縮減や代替案立案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> 水辺整備にあたっては、近隣工事で発生する土砂を盛土へ流用すること等によりコストの縮減を図る。 事業の進捗状況、費用対効果を鑑み、継続実施が妥当であり、現状での代替案を検討する必要はないと考えている。
対応方針（原案）	継続
対応方針理由	<p>以上から、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、継続が妥当である。</p> <p>今後の事業の実施にあたっては、地域と協力体制を確立するとともに、新技術・新工法等を活用し、コスト縮減に引き続き取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。</p>
その他	—

An aerial photograph of a wide river valley. The river flows from the top center towards the bottom. On either side of the river, there are large, rectangular agricultural fields, some green and some brown. In the distance, a town or city is visible, with a dense cluster of buildings. The sky is a clear, pale blue.

日野川総合水系環境整備事業

再評価 説明資料

平成26年12月16日
国土交通省中国地方整備局

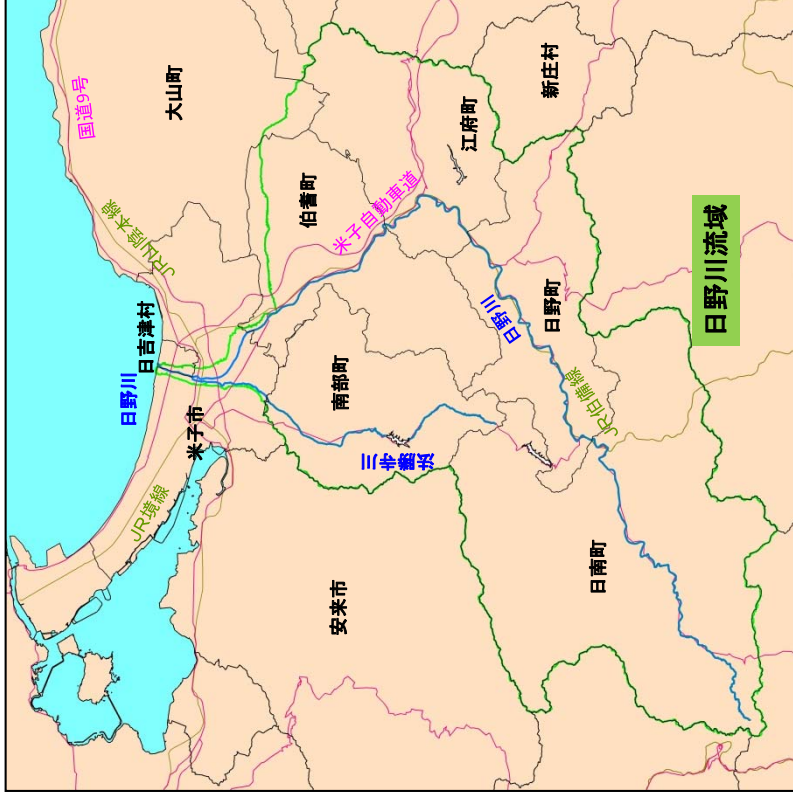
1. 流域の概要

- 日野川は、その源を鳥取県日野郡日南町三国山（標高1,004m）に発し、法勝寺川や印賀川、俣野川等を合わせて、日本海に注いでいる。
- 下流部には「日野川桜づつみ」等が整備され、地域住民に広く利用されている。
- 支川の法勝寺川は、米子市観音寺において日野川に合流し、流域内で肥沃な平地部を形成しており、のどかな田園風景が広がる。
- 河川水は古くから農業用水として利用され、また、14箇所の発電所において発電用水として使用されている。



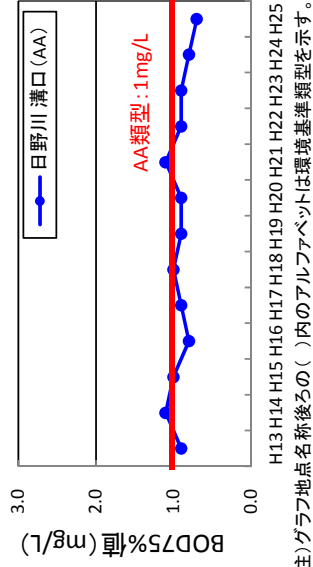
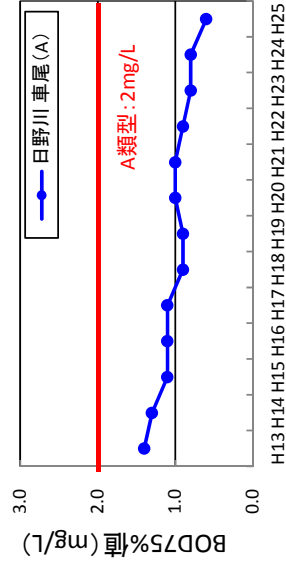
【日野川の諸元】

- 流域面積： 870km²
- 幹川流路延長： 77km
- 山地面積比率： 約92%
- 流域内人口： 61千人

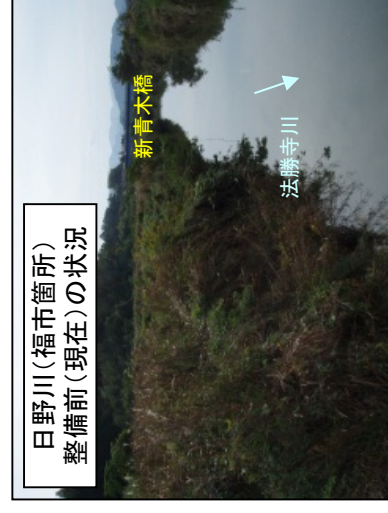
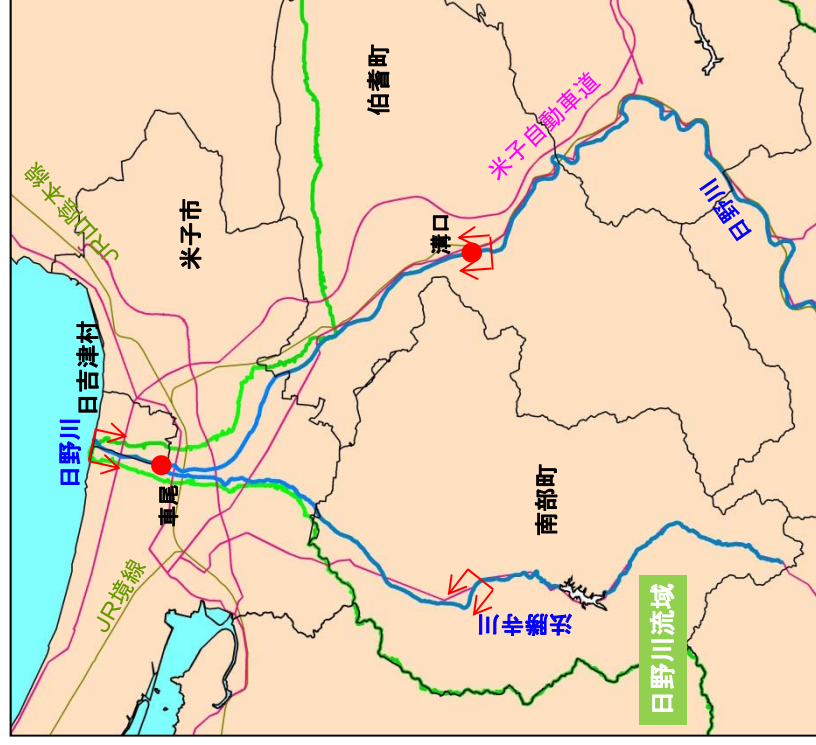


2-1. 日野川水系の現状、課題および利用状況

- 日野川の河川水質は、環境基準を概ね満足し、良質な水質が保たれている。
- 車尾床止から河口までの下流部は、河口砂州で夏鳥として渡ってくるコアジサシが営巣している。
- 日野川及び周辺地域をフィールドとした住民団体や地域団体が活動しており、河川愛護の啓発活動や環境学習を継続的に行っている。
- 日野川及び法勝寺川の河川敷は、雑草等が繁茂し、水辺に近づきにくくなっている。



注) グラフ地点名称後ろの()内のアルファベットは環境基準類型を示す。



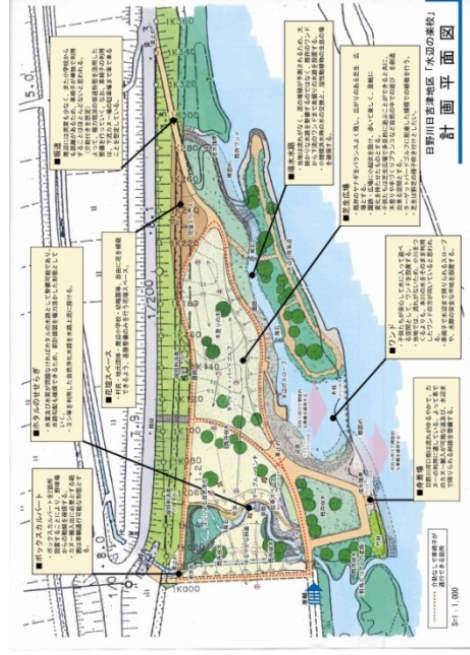
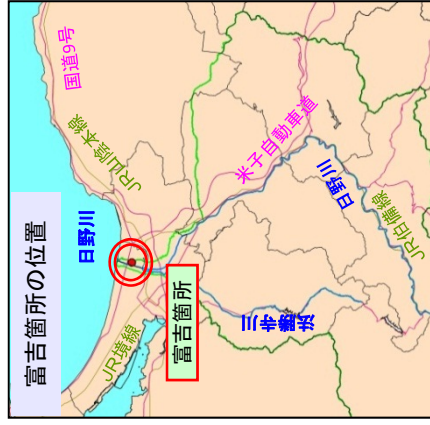
課題: 雑草等が繁茂し水辺に近づきにくい

注) 図中の●箇所は、水質調査地点を示す。

2-2. 日野川水系のこれまでの環境整備事業の取り組み

日野川ではこれまで環境整備事業として、水辺整備事業（富吉箇所：H18年度完成）を実施している。

整備完了後、「富吉箇所」は、地元の小学校、幼稚園等の環境学習等で利用されるとともに、周辺住民の方の散策など地域の交流の場として利用されている。



水辺整備 完成写真



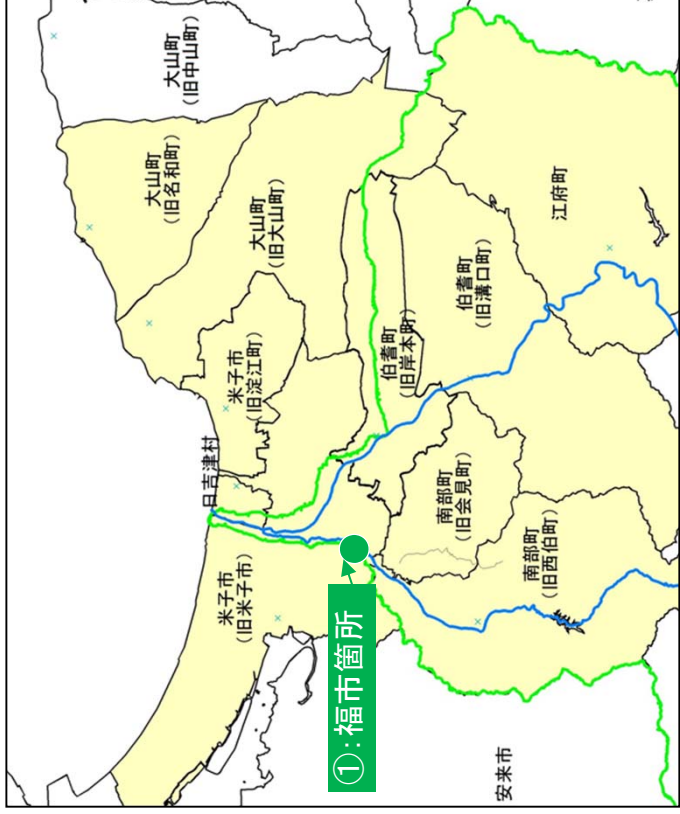
水辺整備 完成後利用状況



3. 事業内容

- 日野川総合水系環境整備事業の再評価対象箇所は、福市箇所の1箇所である。

評価区分	No.	河川名	事業名	市町村	事業年度	事業内容	事業費 (百万円)	評価手法	備考
再評価	①	ほっしやうじ 法勝寺川	【水辺整備】 水辺の楽校 ふくいち (福市箇所)	よなご 米子市	(計画)	高水敷整正、 ワンド、坂路等	227	TCM	



凡例
 【再評価】
 緑:計画①

4-1. 整備内容

①【水辺整備】水辺の楽校（福市箇所）（計画）

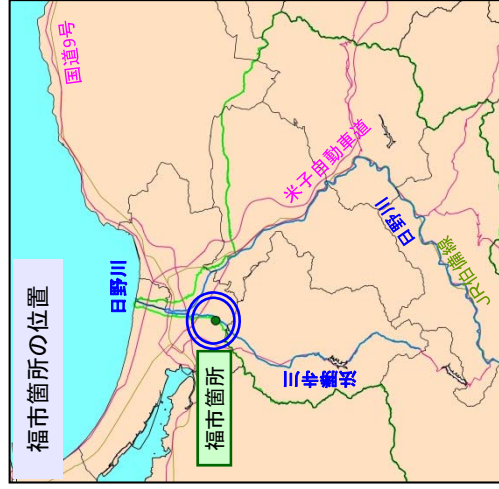
整備目的：子どもたちが日常的に川と触れ合おう、河川環境学習などの活動の場としての基盤整備

現状と課題：河川敷には雑草等が繁茂し、水辺に近づきにくくなっている。

整備内容：高水敷整正、ワンド、坂路等

事業費：227百万円

【福市箇所の位置】

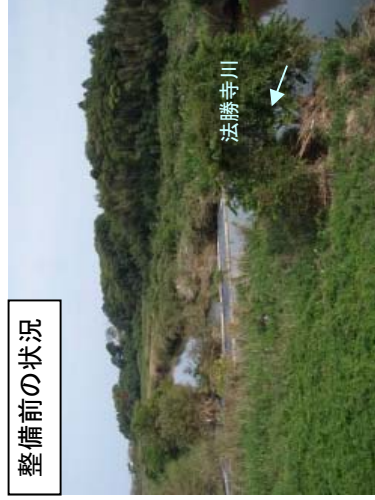


【福市箇所 完成イメージ図】



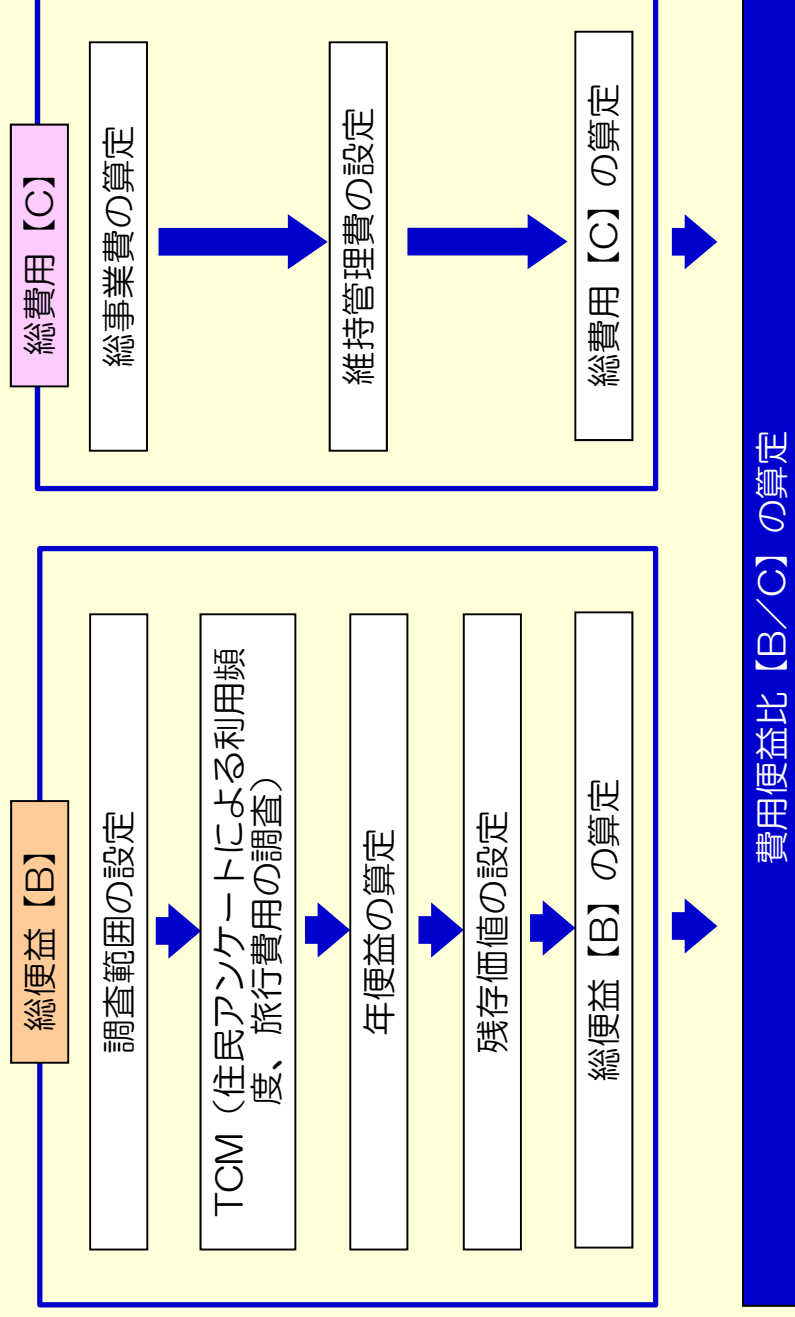
図は一般的な水辺の楽校のイメージであり、実際の整備前には地元関係機関との調整を行い整備位置や整備内容を決定します。

整備後の活用イメージ
富吉箇所の水辺整備（日吉津村）



4-2. 費用対効果分析

(1) 費用便益比 (B/C) 算定の流れ



4-2. 費用対効果分析

●調査範囲の設定方針

：下記の理由から前回評価時（H23）結果を踏襲する。

- ①前回調査範囲の人口、世帯数や、事業箇所へのアクセスが改善される道路整備等、流域や近隣の社会環境について、前回調査を実施した平成23年度から大きな変化がなく、利用圏域が大きく変化していないと考えられること。
- ②前回調査を実施した平成23年度から整備内容に大きな変更がないことから、住民の認知度等に対する考え方が変化していないと考えられること。

●住民アンケート調査の実施方針

：下記の理由から前回評価時の住民アンケート調査結果を踏襲するとともに、今回評価の便益とする。

- ① 前回評価時から事業が進捗しておらず、事業費、需要量（人口、世帯数）に大きな変化がないため。

●便益の計測

「河川に係わる環境整備の経済評価の手引き」（H22.3）に基づき、評価を行った。

◆TCM（トラベルコスト法）

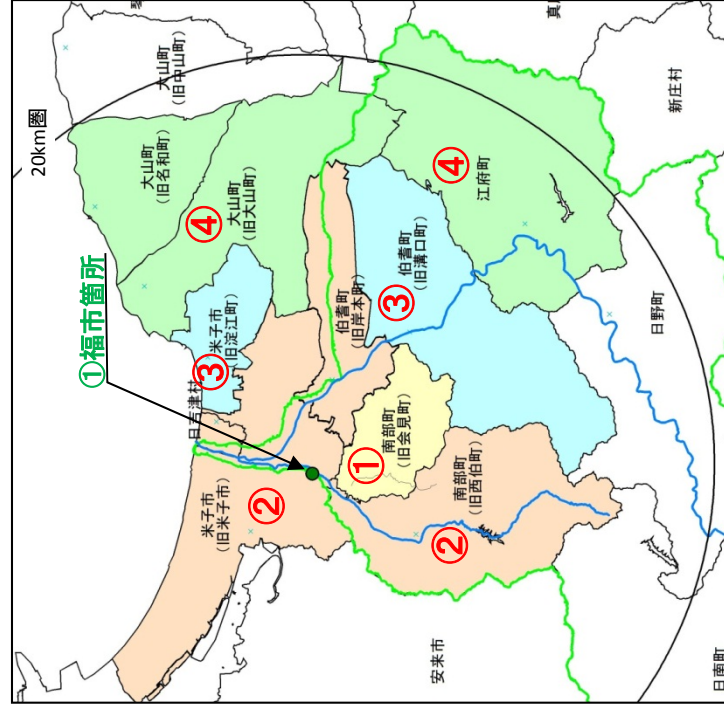
- ⇒ 整備前後の利用頻度、旅行費用の需要曲線を推定し、整備前後の需要曲線の差分を
年便益（消費者余剰）として計測する。

4-2. 費用対効果分析

(2) 調査範囲（住民アンケート配布範囲＝受益集計範囲）の設定【TCM】
ブレアンケートを実施し、住民アンケート配布範囲（受益集計範囲）を設定。

① 水辺整備【福市箇所】（TCM）

⇒前回評価時（H23）の調査結果を用いた。（利用が確認されている1市4町1村）



凡例	
	ゾーン①
	ゾーン②
	ゾーン③
	ゾーン④

4-2. 費用対効果分析

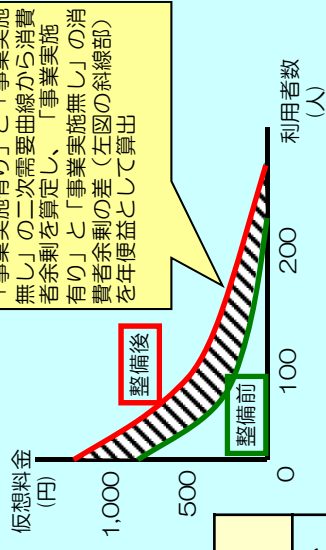
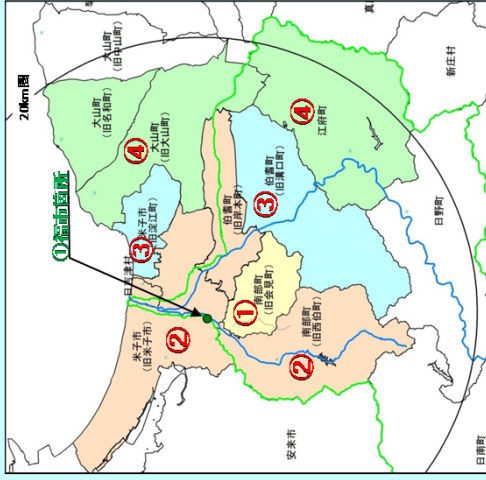
【水辺整備】TCM（住民アンケートによる利用頻度、旅行費用の調査）

- アンケート調査結果から利用者の来訪距離別にゾーンを選定。（平成23年11月にアンケートを実施）
- アンケート調査結果から各ゾーンごとに交通手段別の利用頻度、旅行費用（トラベルコスト）を算定。
- 整備前後の需要関数を求め、その差分を年便益（消費者余剰）とする。
- 郵送によるアンケートを実施。

アンケート結果・回収状況	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
水辺整備【福市箇所】	1,200	617	51.4%	456	73.9%

【利用実態を踏まえてゾーンを設定】【整備前後の消費者余剰（単年度便益）を算定】 （水辺整備【福市箇所】）

- ◆利用頻度とトラベルコストの関数曲線を用いて、ゾーンごとに仮想料金を設定し 仮想料金ごとの利用者数を求め、各ゾーンの総和によって得られた値により需要曲線（需要関数）を推計。



【水辺整備】
（再評価）
：年便益額（消費者余剰）
＝45百万円

（水辺整備【福市箇所】）

ゾーン名	平均利用頻度 (回/年・人)		C.旅行費用 (円)	年便益 (百万円)	
	整備前	整備後		整備前	整備後
①	2.35	10.04	142		
②	3.04	5.30	241	36	
③	0.24	0.56	436		81
④	0.13	0.26	764		

(3) 残存価値の設定

事業完成後50年経過時点での事業箇所の価値を算定。

(4) 総便益の算定

事業完成後50年の年便益総和に残存価値を加え、算定社会的割引率（4％）を用いて現在価値化した値。

4-2. 費用対効果分析（再評価）

(5) 費用便益比 (B/C) の算出方法

再評価【全体事業】

対象箇所：①福市箇所

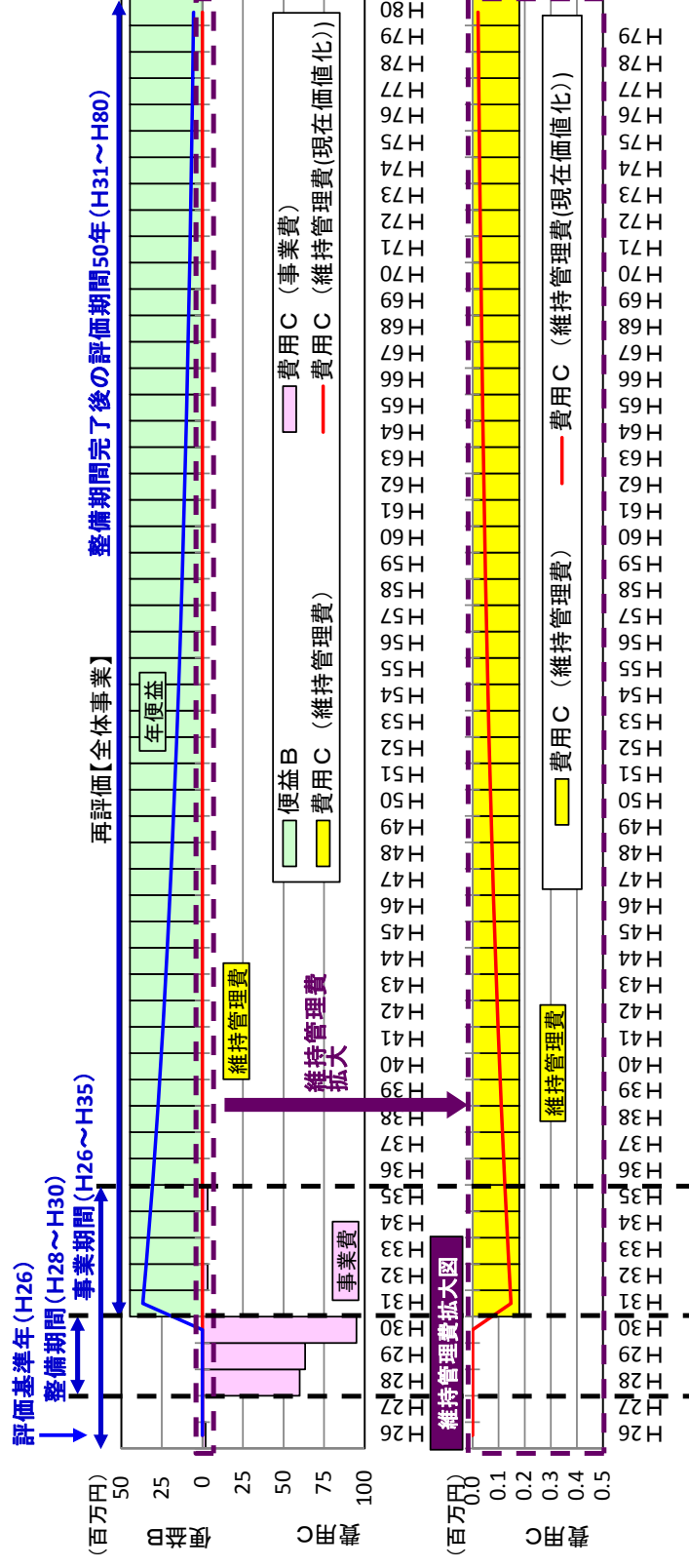
【便益の整理】

- ・評価期間中に発現する便益を社会的割引率（4％）で割り引いた上で集計
- ・評価期間後に生じる残存価値を算定

【費用の整理】

- ・今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率（4％）によって割り引いた上で集計

項目	全体
便益(B1)	819百万円
残存価値(B2)	5百万円
総便益(B=B1+B2)	824百万円
建設費(C1)	200百万円
維持管理費(C2)	3百万円
総費用(C=C1+C2)	203百万円
便益比(B/C)	4.1



4-2. 費用対効果分析（再評価）

(6) 費用対効果分析結果（再評価；①福市箇所）

事業期間を事業完了後50年間とし、現在価値化を行った。

◇総便益

【水辺整備】全体事業： 824百万円

(※) 総便益は、それぞれの年便益に、社会的割引率（4%）を用い現在価値化したものに残存価値を加えた値。

◇総費用

【水辺整備】全体事業： 203百万円

(※) 総費用は、総事業費に50力年の維持管理費を加え、社会的割引率（4%）を用い現在価値化した値。
(※) 維持管理費は、富吉箇所実績費より設定した。

◇費用便益比（B/C）

【水辺整備】全体事業： 4.1

4-3. 今後の対応方針（原案）（再評価）

（1）再評価の視点

①事業の必要性等の視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・日野川沿川の米子市、南部町、伯耆町、江府町、大山町、日吉津村の人口は平成22年現在で約196千人であり、今後高齢化等により大きく減少することが想定されている。
- ・日野川は、地域住民に日常生活の中で散策等の利用がなされている。

2) 事業の投資効果

- ・費用便益比（H26時点） 全体事業（B/C）=4.1

3) 事業の進捗状況

- ・本事業は計画段階である。

②事業の進捗の見込み

- ・関係機関や住民等の意見を取り入れながら事業の実施について、検討していく。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性

- ・福市箇所にあたっては、近隣工事で発生する土砂を流用すること等によりコスト縮減を図る。
- ・費用対効果等を鑑み継続実施が妥当であり、現状での代替案を検討する必要は無いと考える。

（2）県への意見照会結果

- ・事業再評価に係る対応方針（原案）については、異存ありません。

【今後の対応方針（原案）】

- ・上記の各視点により、事業の必要性、重要性は変わらないことから、事業の継続が妥当である。
- ・今後の事業実施にあたっては、地域との協力体制を確立するとともにコスト縮減に取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。

【参考】費用便益比総括表

単位：百万円

項目	再評価	
	全体事業	残事業
費用 (C)	203	203
建設費	200	200
維持管理費	3	3
便益 (B)	824	824
便益	819	819
残存価値	5	5
費用対便益(B/C)	4.1	4.1

- ※ 総費用は、総事業費に50力年の維持管理費を加え、社会的割引率（4％）を用い現在価値化した値。
- ※ 維持管理費は、については完成済み箇所の実績費をもとに設定した。
- ※ 総便益は、それぞれの年便益に、社会的割引率（4％）を用い現在価値化したものに残存価値を加えた値。

【参考】前回評価時との比較

事項	前回評価（H23） 再評価		今回評価 再評価		備考
	事業諸元 及び 事業期間	【福市箇所】 （計画） 高水敷整正、ワンド、坂路等		【福市箇所】 （計画） 高水敷整正、ワンド、坂路等	
総事業費 （百万円）	215		227		
総費用（C） （百万円）	193		203		
総便益（B） （百万円）	824		824		
費用対効果 （B / C）	4.3		4.1		

【参考】感度分析（再評価）

- 参考として、残事業費、残工期、便益を個別に±10%変動させて、費用便益比（B/C）を算定し、感度分析を行った。

＜B/C算定ケース（基本1ケース、感度分析6ケース）＞

B/C	基本	残事業費		残工期		便益	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
再評価	4.1	3.7	4.5	4.1	4.1	4.5	3.7

(再評価)

日野川総合水系環境整備事業

[費用便益比 (B/C) 算定等資料]

【概要】

水系・河川名	日野川水系
事業名	日野川総合水系環境整備事業
事業主体	日野川河川事務所
関係自治体	米子市、南部町、伯耆町、江府町、日野町、日南町、大山町、日吉津村
事業期間	2014年度～2023年度（平成26年度～平成35年度）
基準（評価年度）	2014年度（平成26年度）

【費用】

	建設費	維持管理費	合計
単純合計（実質価格）	227百万円	9百万円	236百万円
基準年における現在 価値合計（C）	200百万円	3百万円	203百万円


【便益】

	便益
供用年度	平成31年度
供用年度の単年度便 益（実質価格）	44.6百万円
残存価値	5百万円
基準年における現在 価値合計（B）	824百万円

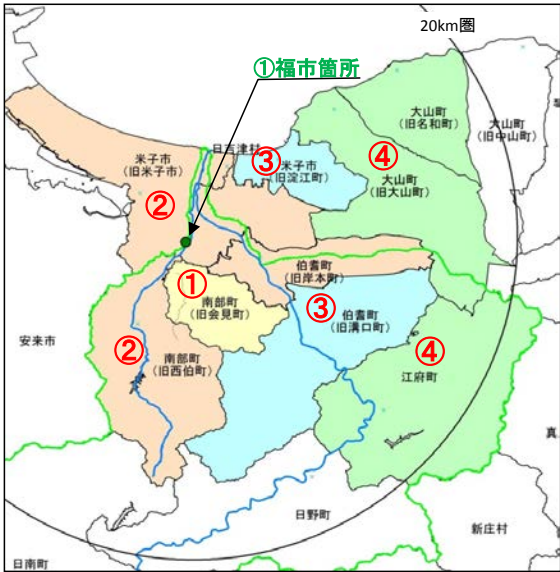
【費用便益分析結果】

費用便益比（C B R）	4.1
純現在価値（N P V）	621百万円
経済的内部収益率 （E I R R）	17.2%

【算出説明書】

事業概要	
事業目的	<p>日野川は、その源を広島・島根の県境に位置する三国山（標高 1,004m）に発し、途中印賀川や俣野川等の支川を合わせ、下流で法勝寺川と合流し、日本海（美保湾）に注ぐ、流域面積 870km²、幹川流路延長 77km の一級河川である。</p> <p>流域の約 92%を山地が占め、下流部は鳥取県第二位の人口が集中する米子市街地を形成している。</p> <p>古くは繊維関係産業や豊富な林産資源に恵まれた林業等が盛んであったが、近年では果樹栽培や畜産業等が盛んである。観光業では、鳥取県内最大の温泉である皆生温泉、日本最大級のフラワーパーク「とっとり花回廊」、大山山麓（冬季のスキー、夏季の避暑）等も賑わっている。</p> <p>（水辺整備） 《水辺の楽校【福市箇所】》 事業予定箇所周辺には小学校があるが、河川敷には雑草が繁茂し、水辺に近づきにくくなっている。そのため、子どもたちが日常的に川と触れ合い、河川環境学習などの活動の場として利用できるように基盤整備を行う。</p>
事業内容 (事業箇所図)	<p>（水辺整備） 水辺の楽校【福市箇所】[計画] 高水敷整正、ワンド、坂路等</p>  <p>凡 例 【再評価】 緑:計画(①)</p>

【算出説明書】

費用便益比の算定根拠																			
便益	評価手法	福市箇所の環境整備は主な便益が水辺整備による利用価値の向上であることからTCM（トラベルコスト法）を用いて評価を行った。（平成23年11月にアンケート実施）																	
	便益計測期間	H31～H80（単独事業の効果発現時から全事業完了後50年）																	
	総便益	○年便益額＝ 45百万円 ○残存価値＝ 5百万円 総便益 $B = \sum \text{単年度便益額} / (1 + 0.04)^n + \text{残存価値} = 824 \text{ 百万円}$																	
	評価範囲 (評価対象範囲図)	○便益集計範囲：プレテストの結果を踏まえて設定。 <table border="1" data-bbox="481 622 1461 884"> <thead> <tr> <th>箇所名</th> <th>便益帰着範囲</th> <th>便益帰着範囲の設定根拠</th> <th>便益集計範囲の市町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水辺の楽校【福市箇所】</td> <td>概ね20km圏</td> <td>・整備前、整備後の利用者の居住範囲を含む地域。</td> <td>米子市（旧米子市、旧淀江町）、日吉津村、伯耆町（旧岸本町、旧溝口町）、南部町（旧会見町、旧西伯町）、江府町、大山町（旧大山町、旧名和町）</td> </tr> </tbody> </table> ○アンケートの概要： <table border="1" data-bbox="481 954 1461 1193"> <thead> <tr> <th>箇所名〔評価方法〕</th> <th>配布・回収方法</th> <th>便益集計範囲人口・配布数</th> <th>回収数 回収率</th> <th>有効回答数 有効回答率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水辺の楽校【福市箇所】</td> <td>郵送</td> <td>153,136世帯 1,200通</td> <td>617票 51.4%</td> <td>456票 73.9%</td> </tr> </tbody> </table>	箇所名	便益帰着範囲	便益帰着範囲の設定根拠	便益集計範囲の市町	水辺の楽校【福市箇所】	概ね20km圏	・整備前、整備後の利用者の居住範囲を含む地域。	米子市（旧米子市、旧淀江町）、日吉津村、伯耆町（旧岸本町、旧溝口町）、南部町（旧会見町、旧西伯町）、江府町、大山町（旧大山町、旧名和町）	箇所名〔評価方法〕	配布・回収方法	便益集計範囲人口・配布数	回収数 回収率	有効回答数 有効回答率	水辺の楽校【福市箇所】	郵送	153,136世帯 1,200通	617票 51.4%
箇所名	便益帰着範囲	便益帰着範囲の設定根拠	便益集計範囲の市町																
水辺の楽校【福市箇所】	概ね20km圏	・整備前、整備後の利用者の居住範囲を含む地域。	米子市（旧米子市、旧淀江町）、日吉津村、伯耆町（旧岸本町、旧溝口町）、南部町（旧会見町、旧西伯町）、江府町、大山町（旧大山町、旧名和町）																
箇所名〔評価方法〕	配布・回収方法	便益集計範囲人口・配布数	回収数 回収率	有効回答数 有効回答率															
水辺の楽校【福市箇所】	郵送	153,136世帯 1,200通	617票 51.4%	456票 73.9%															
便益	評価範囲 (評価対象範囲図)	○水辺の楽校【福市箇所】  <table border="1" data-bbox="1142 1626 1342 1827"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ゾーン①</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ゾーン②</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ゾーン③</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ゾーン④</td> </tr> </tbody> </table>	凡例			ゾーン①		ゾーン②		ゾーン③		ゾーン④							
	凡例																		
	ゾーン①																		
	ゾーン②																		
	ゾーン③																		
	ゾーン④																		
費用	建設費	200百万円																	
	維持管理費	3百万円																	
	総費用	203百万円																	
費用便益比 (B/C)		4.1																	
その他留意点等																			

事業費の内訳書

河川事業

事業名	日野川総合水系環境整備事業 (全体事業費)
-----	-----------------------

評価年度	平成26年度	再評価
------	--------	-----

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費	本工事費		式	1	138	
			式	1	138	
		高水敷整正	m ²	13,000	13	
		ワンド整備	箇所	1	5	
		管理用通路	m ²	1,400	7	
		坂路	m ²	893	27	
		護岸	m ²	2,800	70	
		その他	式	1	16	仮設工等
間接経費			式	1	89	
事業費 計			式		227	
維持管理費			式	1	9	

法勝寺川の河川環境整備に関する アンケートにご協力をお願いします。

平成 23 年 11 月
国土交通省 中国地方整備局 日野川河川事務所

謹啓

時下、皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

日野川河川事務所では、日野川水系において、川や生きものとのふれあいの場、環境学習の場の整備を目的とした『水辺の楽校（がっこう）』の整備を計画しています。

このたび、日野川水系における水辺の楽校の効果を評価するため、アンケートを実施することとなりました。

アンケートのご回答は全て統計処理し、個々の調査結果に関しては一切公表することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください（問 12 に記入いただいたご意見は、個人情報を伏せたくて公表する可能性があります）。

なお、このアンケートは、日野川周辺にお住まいの方を対象とさせていただいております。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、本アンケート調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬白

■ご記入にあたって

【個人情報について】

- このアンケートは、電話帳から無作為に抽出した、日野川周辺の自治体にお住まいの方にお送りしています。
- 宛先の方がご不在などの場合には、どなたかご家族の方にご協力いただければ幸いです。

【回答方法について】

- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月28日（月）までにお近くの郵便ポストにご投函下さいますようお願い申し上げます。

■アンケート調査についてのお問い合わせ

このアンケート調査は、国土交通省中国地方整備局 日野川河川事務所が実施しています。アンケートに対してご不明な点などがございましたら、下記にお問い合わせ下さい。

国土交通省 中国地方整備局 日野川河川事務所

工務課 担当：栗原（くりはら）

Tel：0859-27-5484

（受付時間は、土日・祝日を除く 10 時～17 時）

まず、同封の『アンケート説明資料』をご覧ください、
下記の質問にご回答下さい。

問1 あなたは法勝寺川をご存知ですか？

※あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. よく知っており、よく行く（概ね月1回以上）。
2. よく知っており、たびたび行く（概ね年数回程度）。
3. 知っており、たまに行く（概ね年1回程度）。
4. 知っているが、行かない。
5. 初めて知った。

『米子市福市地区』についてお伺いします。

『米子市福市地区』については、同封の『アンケート説明資料』に記載しています。

問2 あなたは説明資料に示すような水辺の楽校が『福市地区』で計画されていることをご存じでしたか？

※あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 知っていた。
2. 知らなかった。

問3 あなたは、現在、『福市地区』をどのくらい訪れていますか？

※あてはまるものを一つ選んで番号を○で囲み、()内におおよその回数を記入してください。

1. 週1回以上 ⇒ 週に()回くらい
2. 月1回以上 ⇒ 月に()回くらい
3. 年1回以上 ⇒ 年に()回くらい
4. 年1回未満
5. 行ったことがない

※「5」を選択した方は、問5に進んでください。

問4 どのような目的で『福市地区』に行きましたか？

※あてはまるものすべてを選び、番号を○で囲んでください。(複数回答可)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 釣りや水遊びなどの水辺利用 | 2. 散策、ジョギング、サイクリング |
| 3. 河川敷の利用、スポーツ | 4. 自然観察、環境・体験学習 |
| 5. 清掃などの地域活動 | |
| 6. 通勤・通学 | |
| 7. その他(具体的に：) | |

問5 あなたは『福市地区』の水辺の楽校が完成(護岸や管理用通路などの整備が完成)したら、『福市地区』を何回くらい訪れようと思いますか？

※あてはまるものを一つ選んで番号を○で囲み、()内におおよその回数を記入してください。

1. 週1回以上 ⇒ 週に()回くらい
2. 月1回以上 ⇒ 月に()回くらい
3. 年1回以上 ⇒ 年に()回くらい
4. 年1回未満
5. 行くつもりはない

問6 あなたのお宅から『福市地区』に行くとした場合、どのような交通手段を利用しますか？

※あてはまるものを一つ選び、番号を○で囲んでください。また、 枠には、片道に要するおおよその時間を記入してください。

- | | |
|---|-------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. 車・バイク2. 自転車3. 徒歩4. バス5. その他() | } で <input type="text"/> 分くらい |
|---|-------------------------------|

問7 あなたは、説明資料に示した全ての施設が整備されたとしたら、『福市地区』を利用する回数はどのくらい増えると思いますか(整備前と比較して)。

※あてはまるものを一つ選んで番号を○で囲み、()内におおよその回数を記入してください。

1. 週1回以上 ⇒ 週に()回くらい増える
2. 月1回以上 ⇒ 月に()回くらい増える
3. 年1回以上 ⇒ 年に()回くらい増える
4. 年1回未満
5. 増えることはない

あなたご自身のことについてお伺いします。

問8 あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

問9 あなたの年齢をお答えください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

問10 あなたのご職業をお答えください。

1. 農業 2. 林業 3. 水産業 4. 会社員 5. 公務員
6. 自営業 7. パート・アルバイト 8. 学生 9. 主婦・主夫
10. 無職 11. その他 ()

問11 あなたの住まいの郵便番号を記入してください。

□	□	□	-	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

問12 最後に、日野川水系における水辺の楽校の整備など河川環境の整備や、本アンケート調査に対するご意見がございましたら、ご自由にご記入下さい。

--

～ ご協力ありがとうございました ～

TCM 調査結果 (福市箇所)

(1) アンケート集計数

箇所名	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
福市箇所	1,200	617	51.4%	456	73.9%

(2) トラベルコスト算定結果

【福市箇所】

ゾーン	<整備前> 利用頻度 (回/年)	<整備後> 利用頻度 (回/年)	旅行 費用 (円/回)
1	2.35	10.04	142
2	3.04	5.30	241
3	0.24	0.56	436
4	0.13	0.26	764

(3) 便益・費用算定結果

年便益(百万円)	B(百万円)	C(百万円)
45	824	203

◇Bは残存価値を加算した。

◇年便益 = 整備後の消費者余剰 - 整備前の消費者余剰
 = 81 百万円 - 36 百万円
 = 45 百万円

日野川総合水系環境整備事業
〔鳥取県への意見照会と回答〕



国中整企画第47号
国中整港計第25号
平成26年11月20日

鳥取県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の
作成に係る意見照会について (ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、
ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通
省所管公共事業の再評価実施要領 (以下「実施要領」という。) に
基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その
効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委
員会 (以下「委員会」という。) において、再評価に係る対応方針
(原案) について審議しております。

このたび、平成26年12月16日 (火) に委員会を開催するこ
ととなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原
案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼い
たします。

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
日野川総合水系環境整備事業	継続	
千代川総合水系環境整備事業	継続	

【海岸事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
皆生海岸直轄海岸保全施設整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成26年12月3日(水)までにお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 加田

施策分析評価係長 森浦

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651

第201400132717号
平成26年12月1日

国土交通省中国地方整備局長 様

鳥取県知事



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

平成26年11月20日付国中整企画第47号及び国中整港計第25号で照会のあった日野川総合水系環境整備事業、千代川総合水系環境整備事業及び皆生海岸直轄海岸保全施設整備事業の事業再評価に係る対応方針（原案）については、異存ありません。

日野川及び千代川では、現在まで取り組んでいただいた総合水系環境整備事業により良好な河川空間が創出され、地域住民に広く利用されているところですが、今後も河川環境の一層の向上が求められています。

皆生海岸は、白砂青松の景勝地であり、海水浴や散策などに利用され住民の憩いの場となっているとともに、皆生トライアスロン等のイベントも開催され、隣接する皆生温泉は鳥取県有数の観光地となっています。これまでに、台風や冬季風浪により浜崖や護岸の崩落などの被害が発生し、現在までに実施していただいた侵食対策事業により砂浜が復元されているところですが、一部の地区では依然侵食が進んでいます。

については、引き続き早期完成に向け一層の御尽力をお願いします。併せて、事業の執行に際しては、できる限り経費の縮減を図られるようお願いいたします。

（担当 県土整備部技術企画課企画・県土強靱化担当 清水 電話0857-26-7410）

